

総代会制度

1 総代会制度について

信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互惠」の精神を基本理念に、会員一人ひとりの意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。したがって、会員は出資口数に関係なく、一人一票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することとなります。しかし、当金庫では、会員数が大変多く、総会の開催は事実上不可能です。そこで、当金庫では、会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代えて総代会制度を採用しております。

この総代会は、決算、取扱業務の決定、理事・監事の選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。したがって、総代会は、総会と同様に、会員一人ひとりの意見が当金庫の経営に反映されるよう、総代構成のバランス等に配慮し、選任区域ごとに総代候補者を選考する総代候補者選考委員会を設け、会員の中から適正な手続きにより選任された総代により運営されます。

さらに、当金庫では、総代会に限定することなく、利用者満足度調査や総代懇談会を実施するなど、日常の事業活動を通じて、総代や会員とのコミュニケーションを大切にし、さまざまな経営改善に取り組んでおります。

なお、総代会の運営に関するご意見やご要望につきましては、お近くの営業店までお寄せください。

総代会のしくみ

選考委員

会員

- ① 総代会の決議により、会員の中から選考委員を選任
- ② 総代候補者選考委員会を開催のうえ、選考基準に基づき、総代候補者を選考

総代候補者

- ③ 総代候補者氏名を店頭掲示し、所定の手続きを経て、会員の代表として総代を委嘱

総代

総代会 会員の総意を適正に反映するための制度

決算に関する事項、理事・監事の選任等重要事項の決定

2 総代とその選任方法

1 総代の任期・定数

- ・ 総代の任期は3年で、定年制を採用しています。
 - ・ 総代の定数は70人以上100人以内で、会員数に応じて選任区域ごとに定めております。
- なお、令和7年6月17日現在の総代数は100人です。

2 総代の選任方法

総代は、会員の代表として、会員の総意を当金庫の経営に反映する重要な役割を担っております。

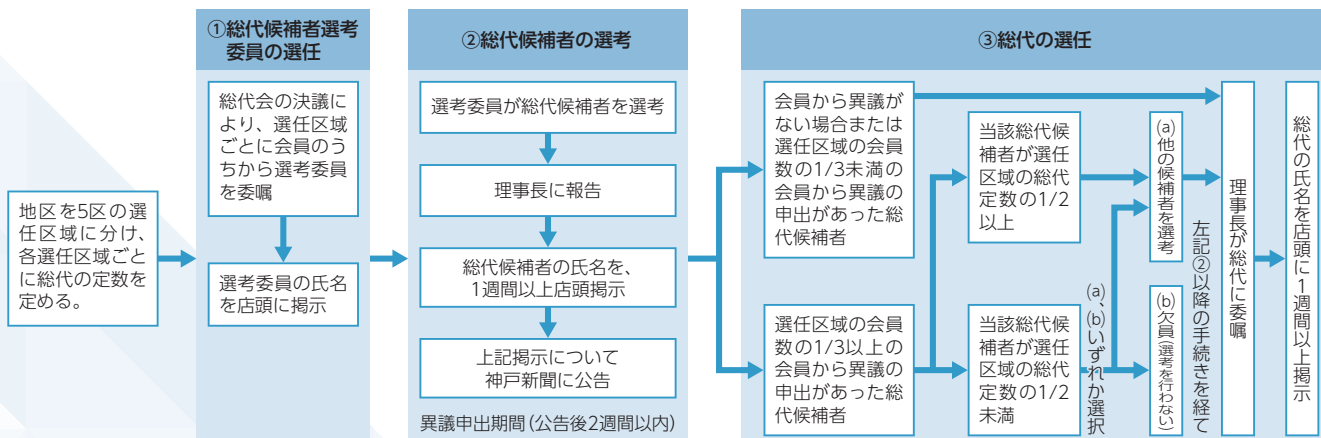
そこで、総代の選考は、総代候補者選考基準に基づき、次の3つの手続きを経て選任されます。

- ① 総代会の決議により、会員の中から総代候補者選考委員を選任する。
- ② 選考委員会を開催のうえ、総代候補者選考委員が総代候補者を選考する。
- ③ 上記②により選考された総代候補者を会員が信任する(意義があれば申し立てる)

総代候補者選考基準

- ① 資格要件
 - ・ 当金庫の会員であること
 - ・ 就任時点で75歳を超えていない者
- ② 適格要件
 - ・ 総代としてふさわしい見識を有している人
 - ・ 良識をもって正しい判断ができる人
 - ・ 人格にすぐれ、金庫の理念・使命を十分理解し、金庫との緊密な取引関係を有する人
 - ・ その他総代選考委員が適格と認めた人

〈総代が選任されるまでの手続きについて〉



3 第76期通常総代会の決議事項

令和7年6月17日開催の第76期通常総代会において、次の事項が付議され、それぞれ原案のとおり承認可決されました。

報告事項	第76期（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）業務報告、貸借対照表及び損益計算書の内容報告の件、監査報告
決議事項	第1号議案 第76期剰余金処分案承認の件 第2号議案 会員除名の件 第3号議案 任期満了に伴う理事改選並びに監事改選の件 第4号議案 退任役員に対する退職慰労金支給の件



第76期通常総代会

4 総代の氏名

(令和7年6月17日現在50音順 敬称略)

北部地区(宍粟市一宮町・波賀町・千種町) 8名

上田 芳史(2) 垣尾 秀雄(12) 金本 和喜(6) 柴原 勝志(2) 林 伸介(11) 松本 真人(2) 森下 隆志(5)
山岸 洋之(7)

中部地区(宍粟市山崎町、姫路市安富町・夢前町・佐用郡佐用町) 27名

居垣 真介(1) 伊藤 和久(11) 伊藤 忠宏(10) 稲田 実(3) 井上 博文(5) 上林建設株式会社(16) 内海 利文(7)
カメウチ電装株式会社(5) 小寺 量也(9) 坂口 明弘(6) 神名 大典(9) 竹田 英雄(7) 谷口 竜太郎(1) 谷笹 利浩(3)
壺阪 雄一(2) 藤井 哲郎(12) 藤村 哲朗(6) 三浦 克幸(3) 光岡 勝利(11) 三谷 恭三(9) 宮脇 昭介(4)
三渡 真介(1) 宗接 由哲(1) 八木 裕三(6) 安井 唯善(9) 山田 佳幸(9) 吉井 祥二(1)

揖龍地区(揖保郡太子町、たつの市、相生市、赤穂市、赤穂郡上郡町) 20名

池尻 雅好(3) 魚橋 哲夫(3) 大谷 聖(6) 緒方 宏紀(3) 片岡 孝次(3) 木南 一志(9) 菅野 敦士(3)
菅野 日出男(5) 高井 勝仁(2) 田中 智樹(1) 玉田 雅史(5) 中村 昭則(1) 西村 文博(3) 平野ブロック株式会社(14)
母里 英雄(3) 前田 俊克(4) 松田 隆(5) 松本 良三(4) 八木 良之(5) 柳原 慎介(1)

南部地区(姫路市(安富町・夢前町を除く)、神崎郡福崎町) 32名

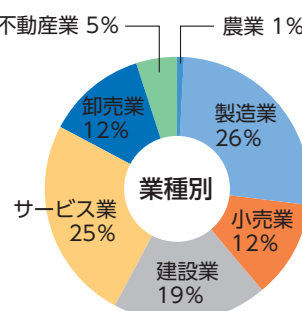
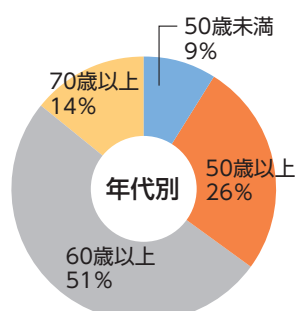
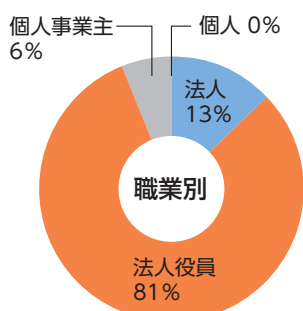
有馬 久和(4) 石井 哲人(5) 石田 文徳(7) 井田 統久(1) 株式会社茨木金属商会(3) 株式会社エムアンドエム食品(7) 大竹 玉己(1)
大盛 正裕(5) 梶浦 伸宏(10) 是川 文孝(3) 佐和 吉敬(1) 澤田 安弘(7) 塩谷 太(8) 志水 数史(3)
株式会社宍粟住建(1) 特定医療法人財団清良会(3) 瀧元 一彦(7) 田中 雅也(1) 辻 幸次郎(6) 壺阪 康裕(1) 株式会社/ケホーム兵庫(10)
原田 信弘(6) 医療法人ひまわり会/家病院(8) 有限会社姫路特殊原料(5) 平位 稔之(6) 二木 三千哉(6) 前原 啓作(3) 圓井 隆広(1)
森下 誉樹(7) 山本 益臣(8) 横野 修三(10) 横山 重紀(9)

東部地区(高砂市、加古川市、加古郡播磨町、加古郡稲美町、明石市、神戸市西区) 13名

植田 幸弘(1) 大橋 卓司(2) 株式会社協和電気商会(17) 栗原 直樹(4) 株式会社神戸家具(7) 鶴田 彰二(3) 西垣 武彦(1)
株式会社兵庫製作所(12) 三宅 忠(5) 村上 篤(1) 山田 文子(1) ヤング開発株式会社(16) 横山 康人(1)

※氏名の後の数字は総代への就任回数

総代の属性別構成比



※年代別の構成比は、個人総代の年齢によるもの
 ※業種別の構成比は、法人・法人役員・個人事業主によるもの
 ※構成比は、単位未満の端数を切り捨てて表示しております